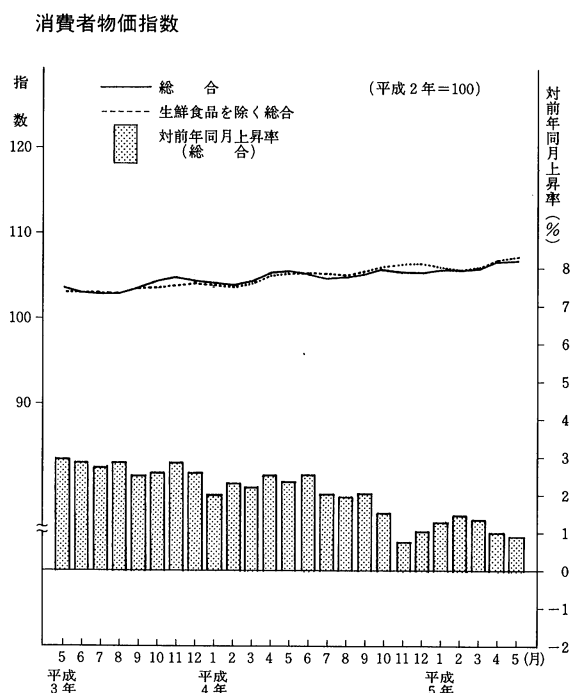
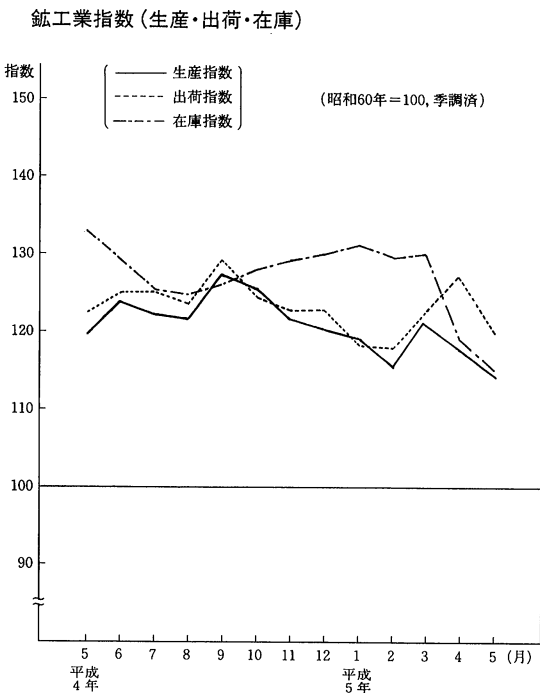
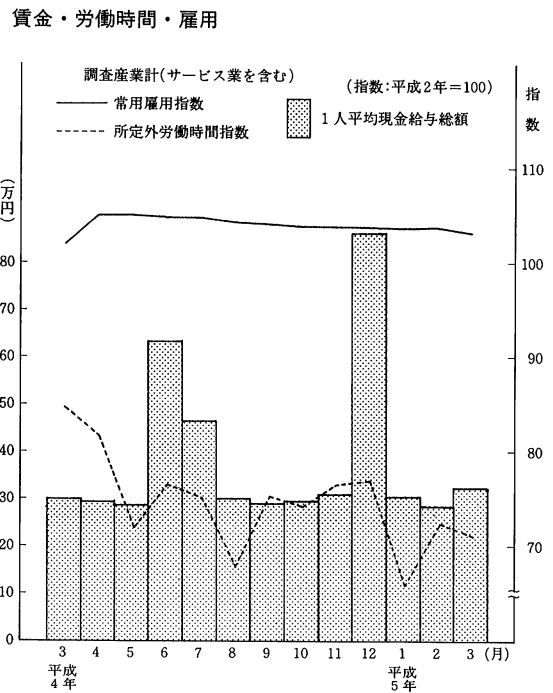
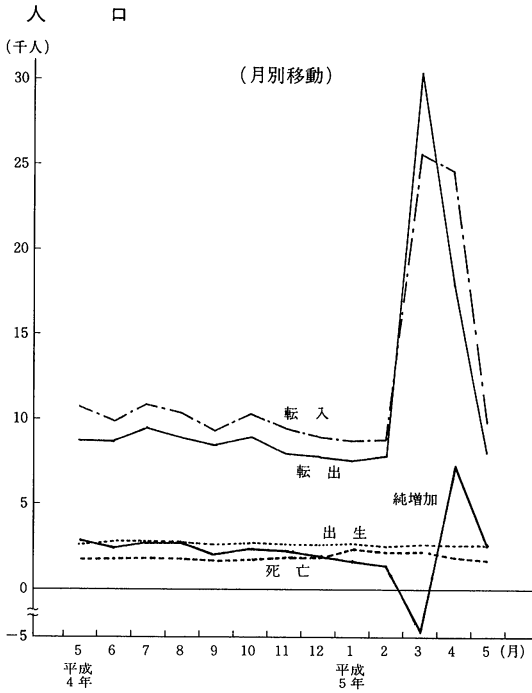


●今月の主な動き

# 今月の主な動き



## 主な動きのあらまし……………企画部統計課

### ■人口(6月1日)

本県の人口は、5月中に2,504人増加し、6月1日現在で2,918,121人(男1,458,564人、女1,459,557人)となった。

内訳は、自然動態で838人(出生2,431人、死亡1,593人)増加し、社会動態で1,666人(転入9,612人、転出7,946人)増加した。前年同月と比べると22,550人(0.78%)の増加である。

### ■賃金・労働時間・雇用(3月)

#### 1. 平均賃金の推移

3月の現金給与総額は、調査産業計で321,180円、対前年同月比4.9%増、このうち、きまって支給する給与は289,065円、対前年同月比3.2%増であった。また、このうち、所定内給与は262,631円、対前年同月比4.3%増であり、超過労働給与は26,434円、対前年同月比9.1%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.3%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

ある。

市町村別では、増加が17市43町村、減少が3市24町村である。

世帯数についても5月中に1,986世帯増加し889,794世帯となった。

#### 2. 労働時間

3月の総実労働時間は、調査産業計で163.2時間、対前年同月比1.9%減であった。このうち、所定内労働時間は149.4時間、対前年同月比0.4%減、所定外労働時間は、13.8時間、対前年同月比15.9%減であった。

#### 3. 雇用の動き

3月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.1%増であった。

### ■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(5月分)

本県における平成5年5月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.3、出荷が120.3、在庫が115.4で、前月比は、生産が△3.7%の低下、出荷が△5.2%の低下、在庫が△3.2%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△2.4%の低下、出荷が△1.9%の低下、在庫が△12.7%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、金属製品工業、輸送機械工業等が上昇し、窯業・土石製品工業、食料品・たばこ工業、石油・石炭製品工業等が低下した。出荷では、

繊維工業、非鉄金属工業、輸送機械工業が上昇し、一般機械工業、石油・石炭製品工業、化学工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、精密機械工業、化学工業等が上昇し、繊維工業、一般機械工業、窯業・土石製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、鉱工業用生産財が上昇し、建設財、非耐久消費財等が低下した。出荷では、耐久消費財が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。在庫では、鉱工業用生産財、その他用生産財が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。

### ■消費者物価指数(5月)

平成5年5月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で106.7(平成2年=100)となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比0.9%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……教科書・学習参考書5.7%、  
乳卵類3.0%、衣料3.0%、シャツ・下着1.8%、果物1.0%

今月の下がった主な項目……野菜・海草4.5%、身の回り用品1.3%、魚介類1.0%

生鮮食品を除く総合は107.2となり、前月比は0.3%の上

昇、前年同月比は1.5%の上昇となった。

#### 費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	106.7	0.1	0.9	保健医療	102.8	0.0	0.3
食料	105.8	△0.6	△1.3	交通通信	100.5	0.0	0.6
住居	113.0	0.8	3.6	教育	110.1	0.3	4.1
光熱・水道	103.2	0.0	0.3	教養娯楽	108.8	△0.2	1.2
家具・家事用品	101.6	△0.1	0.3	諸雑費	103.8	△0.3	0.6
被服及び履物	112.0	1.8	3.1	生鮮食品を除く総合	107.2	0.3	1.5